

2003年度事業報告書

自 2003年 4月 1日

至 2004年 3月 31日

財団法人 日本太鼓連盟

I. 概 要

2003 年度は、不安定な社会状況にもかかわらず、日本財団並びにモーターポート関連団体の支援を得て、支部の開設、会員の実情把握に務めるとともに日本太鼓の伝統伝承、普及、振興をとおして、わが国文化の発展に寄与するため各種事業を積極的に行なった。支部については、北海道の道南支部(室蘭地域)並びに新潟県支部がそれぞれ開設され、36 都道府県に 39 支部が設置された。一方、従来から海外における拠点づくりを進めてきたが、アメリカ太鼓連盟が 1 月に、ブラジル太鼓協会が 2 月にそれぞれ発足した。

文部科学省の「学習指導要領」改正に伴い、中学校に続き高等学校においても音楽教育に日本太鼓などの和楽器が取り入れられるようになった。このため、太鼓指導者の技術向上と育成、増員を図った。さらに、教育委員会や支部の協力を得ながら学校教職員を対象とした太鼓研修会を実施した。

全国障害者大会は、皇后陛下行啓のもと、第 5 回を記念して東京で実施したが太鼓による補助療法として社会的に大きな関心をよび、評価が高まっている。

国際交流事業としては、米国ニューヨーク州ロチェスター市にある国立聾工科大学(ロチェスター工科大学内)で開催された「2003 聰覚障害者教育に関する国際シンポジウム」で、太鼓公演及び太鼓ワークショップを行なった。また、ロシアにおいて開催した「第 4 回空手道世界大会」に出演、日本の伝統文化としての日本太鼓を紹介した。さらに、日本太鼓の普及、振興を図るため、各種演奏会、ジュニアコンクール、講習会並びに技能認定等の事業を行なった。

これら事業については、主務官庁である文化庁の指導を得て実施した。

2003 年度末現在の加盟支部数、加盟団体数、会員総数及び有資格者数は、次のとおりである。

加盟支部数	39 支部(36 都道府県)	前年度	37 支部
加盟団体数	811 団体(正会員 790、特別会員 21)	前年度	801 団体
	賛助会員 7 団体	前年度	7 团体
会員総数	23,179 名	前年度	23,186 名
有資格者数	公認指導員 202 名	前年度	202 名
	技術認定員 3,115 名	前年度	2,812 名

事業内容は、次のとおりである。

1. 主催事業

- (1) 日本太鼓助成金交付事業の実施
- (2) 日本太鼓全国フェスティバルの実施
- (3) 日本太鼓コンサートの実施
- (4) 日本太鼓ジュニアコンクールの実施
- (5) 日本太鼓全国障害者大会の実施
- (6) 国際交流事業の実施
- (7) 日本太鼓全国講習会の実施
- (8) 日本太鼓資格認定事業の実施

2. 一般事業

- (1) 広報事業の実施
- (2) 協力事業の実施
- (3) 後援事業の実施
- (4) 調査研究事業の実施

II. 総務関係

1. 評議員の異動

- ・2003年6月16日(月)第12回理事会において、第3期評議員の辞任に伴う第4期評議員が選任された。逝去されたジョージ・川口氏を除く第3期評議員13名が再任されたほか2名が新任となった。なお、評議員の任期は、2005年6月30日までである。

(理事は巻末別表1、評議員は巻末別表2のとおり)

2. 理事会の開催

・第12回理事会

日 時 2003年6月16日(月) 13:00~14:00

場 所 アークヒルズクラブ(東京都港区)

出 席 理事 19名(委任状出席7名を含む) 監事 2名

議決事項

第1号議案 2002年度事業報告及び決算について

第2号議案 評議員の選任について

第3号議案 支部の開設について

・第13回理事会

日 時 2004年3月5日(金) 13:00~14:30

場 所 アークヒルズクラブ(東京都港区)

出 席 理事 19名(委任状出席8名を含む) 監事 1名

議決事項

第1号議案 2004年度事業計画及び収支予算について

3. 評議員会の開催

・第11回評議員会

日 時 2003年6月16日(月) 11:00~12:00

場 所 アークヒルズクラブ(東京都港区)

出 席 評議員 14名(委任状出席4名を含む)

議決事項

第1号議案 2002年度事業報告及び決算について

・第 12 回評議員会

日 時 2004 年 3 月 5 日(金) 11:00~12:00

場 所 アークヒルズクラブ(東京都港区)

出 席 評議員 15 名(委任状出席 3 名を含む)

議決事項

第 1 号議案 2004 年度事業計画及び収支予算について

4. 各種会議の開催

代議員会

・第 6 回代議員会(会員代表 39 名と当財団役員で構成)

日 時 2003 年 7 月 11 日(金) 13:00~16:00

場 所 船の科学館・羊蹄丸会議室(東京都品川区)

出 席 代議員 44 名

(本人出席 29 名、委任状出席 10 名、代理出席 5 名)

支部事務局長等 28 名

議事内容 2002 年度事業報告、2003 年度事業計画並びに収支予算について
支部事業並びに支部会計の明確化、支部の開設について
公認指導員更新研修会、教職員太鼓研修会について

* 終了後、船の科学館に展示されている「北朝鮮の不審船」を見学した。

(代議員は巻末別表 3 のとおり)

運営委員会

・第 18 回運営委員会

日 時 2003 年 6 月 12 日(木)

場 所 財団事務局(東京都港区)

出 席 12 名(書面議決)

議事内容 北海道道南支部並びに新潟県支部の開設について

・第 19 回運営委員会

日 時 2004 年 1 月 16 日(金) 13:00~16:00

場 所 財団事務局(東京都港区)

出 席 12 名(委任状出席 3 名を含む)

議事内容 日本太鼓助成金交付事業の承認について

2004 年度事業の実施計画について

2003 年度事業の実施状況及び実施予定について

(運営委員は巻末別表 4 のとおり)

技術委員会

・第 16 回技術委員会

日 時 2004 年 1 月 15 日(木) 13:00～17:00
場 所 財団事務局(東京都港区)
出 席 10 名(委任状出席 1 名を含む)
議事内容 日本太鼓資格認定制度について
2003 年度事業並びに 2004 年度事業について

・第 17 回技術委員会

日 時 2004 年 3 月 21 日(日) 19:00～21:00
場 所 岐阜ルネッサンスホテル会議室(岐阜県岐阜市)
出 席 10 名(委任状出席 3 名を含む)
議事内容 日本太鼓資格認定制度について
日本太鼓ジュニアコンクールの実施について

(技術委員は巻末別表 4 のとおり)

5. 登記事項

- ・2003 年 7 月 8 日 資産の変更登記届出(東京法務局)

6. 主務官庁への届出等

- ・2003 年 6 月 29 日 2002 年度事業報告及び決算報告書届を提出
(文部科学大臣)
- ・2004 年 3 月 1 日 文化庁実地検査の実施(文化庁文化部芸術文化課)

7. 支部の開設

北海道道南支部並びに新潟県支部の設置を、第 12 回理事会において諮り承認された。
この結果、39 支部(36 都道府県)となった。

8. 事務局

事務局を東京都港区赤坂 1 丁目 2 番 2 号日本財団ビル 5 階に置き、年度末役職員数は、常勤役員 1 名、職員 4 名、出向職員 1 名の計 6 名である。

III. 事 業 関 係

1. 主催事業

(1) 日本太鼓助成金交付事業の実施

わが国における太鼓活動の普及、振興を図るため太鼓団体の行う講習会、演奏会、国際交流等の事業に対し運営委員会に諮り、規程に基づき助成金を交付した。なお、参加者総数は 18,292 名(観客 14,410 名、出演者等 3,882 名)であった。

名称 2003 年度日本太鼓助成金交付事業(日本財団助成事業)
事業数 20 事業
交付金 1 事業 200,000 円(総額 4,000,000 円)

① 群馬県こども太鼓フェスティバル in かたしな 申請団体: 尾瀬太鼓愛好会

開催期日 2003 年 4 月 29 日(火)
開催場所 片品村花の谷公園(群馬県片品村)
開催内容 主催: 尾瀬太鼓愛好会
後援: (財) 日本太鼓連盟ほか
入場者 850 名(観客数 480 名、出演者 13 団体等 370 名)
事業費総額 250,692 円(助成金額 200,000 円)

② 第 2 回奈良県太鼓フェスティバル 申請団体: 奈良県太鼓連盟

開催期日 2003 年 6 月 29 日(日)
開催場所 かしはら万葉ホール(奈良県橿原市)
開催内容 主催: 奈良県太鼓フェスティバル実行委員会
後援: (財) 日本太鼓連盟ほか
入場者 965 名(観客数 778 名、出演者 12 団体等 187 名)
事業費総額 1,090,500 円(助成金額 200,000 円)

③ 千葉県教職員和太鼓実技研修会 申請団体: 千葉県太鼓連盟

開催期日 2003 年 7 月 20 日(日)
開催場所 九十九里中央公民館(千葉県九十九里町)
開催内容 主催: (財) 日本太鼓連盟千葉県支部・千葉県太鼓連盟
後援: (財) 日本太鼓連盟ほか
入場者 52 名(参加者数 16 名、講師スタッフ等 36 名)
事業費総額 216,000 円(助成金額 200,000 円)

④ 群馬県教職員和太鼓実技研修会 申請団体: 群馬県太鼓連合

開催期日 2003 年 7 月 26 日(土)
開催場所 群馬県総合教育センター体育館(群馬県伊勢崎市)
開催内容 主催: 群馬県太鼓連合
後援: (財) 日本太鼓連盟ほか
入場者 129 名(参加者数 96 名、講師スタッフ等 33 名)
事業費総額 293,793 円(助成金額 200,000 円)

- ⑤ 第3回兵庫県太鼓ジュニアフェスティバル 申請団体：兵庫県太鼓連盟
開催期日 2003年8月24日(日)
開催場所 福祉会館ふれあい(兵庫県新宮町)
開催内容 主催：兵庫県太鼓連盟
後援：(財)日本太鼓連盟ほか
入場者 505名(観客数356名、出演者9団体等149名)
事業費総額 1,216,000円(助成金額 200,000円)
- ⑥ 日本太鼓ジュニアコンクール長野県大会 申請団体：(財)日本太鼓連盟長野県支部
開催期日 2003年8月24日(日)
開催場所 カノラホール(長野県岡谷市)
開催内容 主催：(財)日本太鼓連盟長野県支部
後援：(財)日本太鼓連盟ほか
入場者 695名(観客数450名、出演者12団体等245名)
事業費総額 397,750円(助成金額 200,000円)
- ⑦ 日本太鼓ジュニアコンクール京都府大会 申請団体：(財)日本太鼓連盟京都府支部
開催期日 2003年8月31日(日)
開催場所 加茂町文化センターあじさいホール(京都府加茂町)
開催内容 主催：(財)日本太鼓連盟京都府支部
後援：(財)日本太鼓連盟ほか
入場者 809名(観客数615名、出演者10団体等194名)
事業費総額 250,014円(助成金額 200,000円)
- ⑧ 第1回全国和太鼓競演大会 in 天童 申請団体：山形県太鼓連盟
開催期日 2003年9月27日(土)
開催場所 山形県総合体育馆アリーナ(山形県天童市)
開催内容 主催：第1回全国和太鼓競演大会 in 天童実行委員会
後援：(財)日本太鼓連盟ほか
入場者 1,397名(観客数1,117名、出演者17団体等280名)
事業費総額 4,347,493円(助成金額 200,000円)
- ⑨ 福井の太鼓フェスティバル 申請団体：福井県太鼓連盟
開催期日 2003年9月28日(日)
開催場所 いまだて芸術館(福井県今立町)
開催内容 主催：福井県太鼓連盟
後援：(財)日本太鼓連盟ほか
入場者 860名(観客数700名、出演者15団体等160名)
事業費総額 1,081,640円(助成金額 200,000円)
- ⑩ 第12回東北太鼓フェスティバル 申請団体：宮城県太鼓連絡協議会
開催期日 2003年10月4日(土)・5日(日)
開催場所 十符の里パーク(宮城県利府町)
開催内容 主催：宮城県太鼓連絡協議会
後援：(財)日本太鼓連盟ほか
入場者 2,527名(観客数2,000名、出演者20団体等527名)
事業費総額 3,248,152円(助成金額 200,000円)

- ⑪ 第9回中世の里太鼓まつり 申請団体：中世の里太鼓まつり実行委員会
開催期日 2003年10月5日(日)
開催場所 中世の館(青森県浪岡町)
開催内容 主催：中世の里太鼓まつり実行委員会・青森県太鼓連盟
後援：(財)日本太鼓連盟ほか
入場者 657名(観客数447名、出演者11団体等210名)
事業費総額 1,557,240円(助成金額 200,000円)
- ⑫ 第5回三重県ジュニア太鼓フェスティバル 申請団体：三重県太鼓連盟
開催期日 2003年10月11日(土)
開催場所 フェニックス通り特設ステージ(三重県津市)
開催内容 主催：三重県太鼓連盟
後援：(財)日本太鼓連盟ほか
入場者 703名(観客数500名、出演者6団体等203名)
事業費総額 692,448円(助成金額 200,000円)
- ⑬ 日本太鼓ジュニアコンクール岩手県大会 申請団体：(財)日本太鼓連盟岩手県支部
開催期日 2003年10月26日(日)
開催場所 矢巾町文化会館田園ホール(岩手県矢巾町)
開催内容 主催：(財)日本太鼓連盟岩手県支部ほか
後援：(財)日本太鼓連盟ほか
入場者 497名(観客数320名、出演者8団体等177名)
事業費総額 597,700円(助成金額 200,000円)
- ⑭ フレンドリーコンサート(3回シリーズ) 申請団体：(社)石川県太鼓連盟
開催期日 延べ3日(2003年5月18日・8月24日・11月2日)
開催場所 石川県内3ヶ所
開催内容 主催：(社)石川県太鼓連盟
後援：(財)日本太鼓連盟ほか
延べ入場者 929名(観客数700名、出演者26団体等229名)
• 2003年5月18日(日)穴水ラベンダーホール
370名(観客数300名、出演者7団体等70名)
• 2003年8月24日(日)小松市憩いの森
293名(観客数200名、出演者11団体等93名)
• 2003年11月2日(日)金沢大学
266名(観客数200名、出演者8団体等66名)
事業費総額 501,000円(助成金額 200,000円)
- ⑮ 日本太鼓ジュニアコンクール道西大会 申請団体：(財)日本太鼓連盟道西支部
開催期日 2003年11月9日(日)
開催場所 滝川市文化センター(北海道滝川市)
開催内容 主催：(財)日本太鼓連盟道西支部
後援：(財)日本太鼓連盟ほか
入場者 750名(観客数450名、出演者14団体等300名)
事業費総額 1,544,390円(助成金額 200,000円)

- ⑯ 日本太鼓バ'ュニアコンクール東北海道大会 申請団体：(財)日本太鼓連盟道東支部
開催期日 2003年11月15日(土)
開催場所 標津町文化ホール(北海道標津町)
開催内容 主催：(財)日本太鼓連盟北海道道東支部
後援：(財)日本太鼓連盟ほか
入場者 320名(観客数200名、出演者6団体等120名)
事業費総額 309,482円(助成金額 200,000円)
- ⑰ 2003年太鼓フェスティバル 申請団体：(財)日本太鼓連盟道央支部
開催期日 2003年11月22日(土)
開催場所 札幌コンサートホール(北海道札幌市)
開催内容 主催：(財)日本太鼓連盟北海道道央支部
後援：(財)日本太鼓連盟ほか
入場者 489名(観客数330名、出演者10団体等159名)
事業費総額 449,455円(助成金額 200,000円)
- ⑱ 伝統芸能研究会 申請団体：秋田県太鼓連盟
開催期日 2003年12月7日(日)
開催場所 農村環境改善センター(秋田県神岡町)
開催内容 主催：秋田県太鼓連盟
後援：(財)日本太鼓連盟ほか
入場者 25名(参加者数20名、講師スタッフ等5名)
事業費総額 400,000円(助成金額 200,000円)
- ⑲ 山梨県日米和太鼓交流会 申請団体：山梨県太鼓連盟
開催期日 2004年3月5日(金)～10日(日)
開催場所 ハワイホノルル市
開催内容 主催：山梨県太鼓連盟
後援：(財)日本太鼓連盟ほか
入場者 3,075名(観客数3,000名、出演者4団体等75名)
事業費総額 11,188,500円(助成金額 200,000円)
- ⑳ 第3回飯坂温泉太鼓まつり 申請団体：福島県太鼓連盟
開催期日 2004年3月14日(日)
開催場所 パルセいいざか(福島県飯坂町)
開催内容 主催：飯坂温泉観光協会・福島県太鼓連盟
後援：(財)日本太鼓連盟ほか
入場者 2,058名(観客数1,835名、出演者15団体等223名)
事業費総額 7,385,197円(助成金額 200,000円)

(2) 日本太鼓全国フェスティバルの実施

日本太鼓の普及、振興を図るとともに技術の向上並びに団体間の交流を促進するためのフェスティバルを実施した。昨年度よりこれまでの都道府県代表による推薦方式を改め、日本各地及び海外で活躍している太鼓団体を全国より選抜して行うこととした。2003年度は、石川県の要請を受け、金沢市において行った。

名 称	第7回日本太鼓全国フェスティバル(日本財団助成事業) 2003ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭
期 日	2003年10月12日(日) 開場 13:00 開演 14:00 終演 16:30
会 場	石川厚生年金会館大ホール(石川県金沢市)
主 催	財団法人日本太鼓連盟 2003ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会 石川県、(財)石川県芸術文化協会
主 管	(財)日本太鼓連盟石川県支部、(社)石川県太鼓連盟、北國新聞社
後 援	文化庁、金沢市、北陸三県太鼓協会、NHK金沢放送局、 テレビ金沢、エフエム石川、ラジオ金沢
協 賛	日本財団
入場料	前売 大人 2,500円 当日売 大人 3,000円
出 演	8団体(全国より選抜した7チームに地元の合同チーム) 橋太鼓 韶座(宮崎)、尾張新次郎太鼓保存会(愛知)、信濃国松川響岳太鼓子供会(長野)、 太鼓集団 天邪鬼(東京)、八丈太鼓六人会(東京)、秩父祭屋台囃子保存会(埼玉)、 ゆふいん源流太鼓(大分)、石川県合同チーム(石川)
入場者	1,600名

(3) 日本太鼓コンサートの実施

このコンサートは、(財)全日本ろうあ連盟の事業を支援するために募金キャンペーンの一環として実施した。当日は、我が国のオピニオンリーダー及び在日外国高官の方々を招き、太鼓の認識を新たにし、かつ国際的に広く紹介する機会となった。実施にあたっては、全国より選抜した6団体が出演し、入場者からの募金は全額同連盟に寄贈した。

名 称	第7回日本太鼓チャリティ・コンサート(日本財団助成事業)
期 日	2003年5月22日(木) 開演 19:00 終演 20:10
会 場	草月ホール(東京都港区)
主 催	財団法人日本太鼓連盟
共 催	(財)全日本ろうあ連盟
後 援	日本財団、財団法人日本音楽財団
出 演	6団体 68名 分水太鼓(新潟)、甲州ろうあ太鼓(山梨)、ちんどん(長野)、 加賀太鼓保存会(石川)、龍連山と和太鼓「龍」(山形)、 信濃国松川響岳太鼓子供会(長野・第5回日本太鼓ショーケンクール優勝団体)
入場者	350名(全席招待:在日各国大使館、政財界、音楽界などの関係者を招待)
チャリティ募金	558,300円

(4) 日本太鼓ジュニアコンクールの実施

第6回日本太鼓ジュニアコンクールは、太鼓界の次代を担うジュニア達の健全育成と後継者づくりを目的に岐阜県羽島市の羽島市文化センターで満員の観客を集めて実施した。総務大臣杯並びに文部科学大臣奨励賞を目指し、32都道府県 3,366名(予選28支部・参加276団体・観客18,000名)から選ばれた18才以下の38チームが出場し、太鼓の技量に加え、礼儀などの行動に至るまでを審査の対象として行った。

厳正な審査の結果、宮崎県代表の華太鼓かんなの会「ふじ組」が優勝した。

名称	総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞 第6回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)
期日	2004年3月21日(日)
会場	羽島市文化センター(岐阜県羽島市)
主催	財団法人日本太鼓連盟
主管	財団法人日本太鼓連盟岐阜県支部
後援	総務省、文化庁、岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜県議会、羽島市、 羽島市教育委員会、(財)日本音楽財団、羽島市議会、 岐阜県商工会連合会、(社)山梨県観光連盟、羽島市商工会議所、 羽島市観光協会、羽島市文化協会、中日新聞社、岐阜新聞・岐阜放送
協賛	日本財団
審査委員 (五十音順)	塩見和子(審査委員長・財団理事長)、池田庄作(財団副会長)、 岡田知之(洗足学園大学教授)、小口大八(財団副会長)、 西角井正大(日本大学大学院芸術学研究科講師)、 浜田麻記子(株P.R.D会長)、古屋邦夫(財団技術委員長)
出演	38団体453名(全国32都道府県代表) 夕張太鼓保存会「龍花」(北海道道西地区)、風雪太鼓(北海道道央地区)、北見林一太 太鼓青虎天真(北海道道東地区)、大船渡農業高等学校大農太鼓部(岩手)、刈和野大綱太鼓(秋田)、利府太鼓(宮城)、龍連山太鼓道場「纏組」(山形)、大越町鬼五郎・ 幡五郎太鼓「鬼子」(福島)、ゆりかごわんぱく太鼓Jr.(栃木)、上州榛東ふるさと太鼓 (群馬)、みのり太鼓(茨城)、きたみ太鼓(埼玉)、のさか太鼓(千葉)、荏原流れ太鼓 大元鼓龍組(東京)、秦野市観光と太鼓(神奈川)、輪島・和太鼓虎之介(石川)、越 中いさみ太鼓保存会(富山)、山梨県立山梨園芸高等学校すいれき太鼓部(山梨)、 岡谷太鼓保存会「優心會」(長野)、天城連峰太鼓(静岡)、松平わ太鼓(愛知)、穂積太 鼓保存会ジュニア・加納ふるさと子供太鼓・明宝磨墨太鼓保存会・上石津もんでこ 太鼓保存会少年部・高鷲わらべ太鼓(岐阜)、大和の響き「京」(京都)、金光藤蔭高等 学校と太鼓部「鼓響」(大阪)、播州新宮越部太鼓(兵庫)、広島山陽学園山陽高等 学校音楽部「弾」(広島)、掛合太鼓Jr.(島根)、川筋太鼓博多響学館(福岡)、子供聖 太鼓保存会(佐賀)、諫早天満太鼓(長崎)、人吉ねぶか太鼓(熊本)、ゆふいん源流少年 隊(大分)、華太鼓かんなの会「ふじ組」(宮崎)、山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島)
特別出演	信濃国松川響岳太鼓子供会(第5回大会優勝チーム・長野) 中山太鼓保存会、美濃の国羽島太鼓(岐阜)
入場者	1,300名
審査結果	優勝・総務大臣杯 第2位・文部科学大臣奨励賞 第3位 華太鼓かんなの会「ふじ組」(宮崎県) 天城連峰太鼓(静岡県) ゆふいん源流少年隊(大分県)

第4位	輪島・和太鼓虎之介(石川県)
第5位	岡谷太鼓保存会「優心會」(長野県)
特別賞(計10団体)	
岐阜県教育委員会賞	人吉ねぶか太鼓(熊本県)
岐阜県議會議長賞	夕張太鼓保存会「竜花」(北海道)
羽島市長賞	龍連山太鼓道場「纏組」(山形県)
羽島市教育長賞	みのり太鼓(茨城県)
羽島市議会賞	北見オホーツク太鼓「青虎天真」(北海道)
岐阜県商工会連合会賞	越中いさみ太鼓保存会(富山県)
(社)岐阜県観光連盟会長賞	利府太鼓(宮城県)
羽島商工会議所会頭賞	刈和野大綱太鼓(秋田県)
羽島市観光協会賞	秦野市観光和太鼓(神奈川県)
羽島市文化協会賞	上石津もんでこ太鼓保存会少年部(岐阜県)

(5) 日本太鼓全国障害者大会の実施

第5回日本太鼓全国障害者大会は、日本太鼓を音楽療育の一環として行っている知的・身体障害者チームにより、演奏並びに日本太鼓とその療育等について体験発表を行い、場内を埋めた観客に大きな感動を与えた。今回は、第5回記念として東京の青山劇場において開催したところ、皇后陛下に行啓賜わり盛況のうちに無事終了した。実施にあたっては、地元の東京都支部と関東地区協議会並びに社会福祉法人富岳会の協力を得て行われた。技術的な向上にも増して参加者相互に交流の輪が広がり、演奏者の喜びに満ちた表情が特に印象的であった。

名 称	第5回日本太鼓全国障害者大会(日本財団助成事業)
期 日	2003年9月6日(土) 13:00-16:30
会 場	青山劇場(東京都渋谷区)
主 催	財団法人日本太鼓連盟
主 管	(財)日本太鼓連盟関東地区協議会、(財)日本太鼓連盟東京都支部 社会福祉法人富岳会
後 援	厚生労働省、文化庁、東京都、東京都教育委員会、 渋谷区教育委員会、社会福祉法人全国社会福祉協議会
協 賛	日本財団
内 容	18団体352名(10都府県・出演者266名、付添86名) (1団体演奏7分、体験発表3分) 前野福祉園太鼓俱楽部にこにこ(東京)、すみれ太鼓(長野)、 静岡県立静岡北養護学校「北龍太鼓」、富岳太鼓、静岡ハシテ イキヤッフ の会、 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム(以上、静岡)、 恵那のまつり太鼓、アミリーエニット童鼓(以上、岐阜)、豊里学園和太鼓鼓粹(大阪)、 仁寿太鼓(島根)、糸口太鼓(大分)、勤労障害者長崎打楽交流団瑞宝太鼓(長崎) 以上、知的障害チーム 石川県立ろう学校風神太鼓(石川)、甲州ろうあ太鼓(山梨)、 伊予三島いわくら太鼓ろうあ部会鼓龍会(愛媛) 以上、聴覚障害チーム 伊豆医療福祉センターどんづく(静岡)、古塔山びこ太鼓、和太鼓ちんどん(以上、長野) 以上、身体障害チーム
入場者	1,000名

(6)国際交流事業の実施

2003 年度の国際交流事業は、米国とロシアにおいてそれぞれ太鼓ファンド(特別基金)事業として実施した。アメリカは、ニューヨーク州ロチェスター市にある国立聾工科大学(ロチェスター工科大学内)で開催される「2003 聰覚障害者教育に関する国際シンポジウム」で、太鼓公演及び太鼓ワークショップについて協力要請があつたもので、日本より甲州ろうあ太鼓(山梨)と太鼓集団天邪鬼(東京)を派遣、さらに中心となる公演にはサンフランシスコ太鼓道場も現地で合流した。

ロシア公演は、モスクワにおいて「第4回空手道糸東流世界大会」が行われることとなり、太鼓の出演要請があつたもので、日本の伝統文化としての日本太鼓を紹介するため橋太鼓響座(宮崎)を派遣した。

①名 称	日米太鼓交流	太鼓ファンド(特別基金)事業
・名 称	米国太鼓公演	
期 間	2003年6月19日(木)～7月2日(水)	
訪問国	アメリカ(ニューヨーク州・ロチェスター市、ワシントンD.C.)	
派遣者	塩見和子(理事長)、秋田稔(事業課長)、碇多香子(事務局) 甲州ろうあ太鼓(桜木力氏以下10名) 太鼓集団天邪鬼(渡辺洋一氏以下6名)	
公演等	サンフランシスコ太鼓道場(田中誠一氏以下8名)*6/25-26 出演 シンポジウム&太鼓公演(国立ろう工科大学内「パナラ劇場」) 主催:PEN-International、国立ろう工科大学、日本財団 6月24日(火)13:00-14:30 観客 500名 6月25日(水)09:45-10:00 観客 300名 6月25日(水)19:00-20:00 観客 500名(シンポジウム参加者) 6月26日(木)19:00-20:00 観客 500名(一般公開) 米州開発銀行太鼓公演(米州開発銀行・ワシントンD.C.) 主催:米州開発銀行 6月30日(月)13:00-13:45 観客 300名 ギャローデット太鼓公演(ギャローデット大学・ワシントンD.C.) 主催:ギャローデット大学 6月30日(月)19:30-20:30 観客 700名	
観客数	延べ2,800名	

*「2003 聰覚障害者教育に関する国際シンポジウム」は、世界12カ国・300人以上の聰覚障害者教育に携わる指導者(ろう者・健聴者)が集まり開催される国際シンポジウムで、日本財団が主催している。このシンポジウム開催中、開会式典での公演とシンポジウム参加者及び一般を対象としてそれぞれ公演を行なった。また、日本太鼓に触れる機会を要請され、ロチェスター地域の住民等を対象としたワークショップを行った。これらの公演を日本テレビのN.Y支局が取材に訪れ番組に取り入れられ日本でも大きな反響があった。また、大学訪問の際に記念として贈呈した2鼓の太鼓を基に、2月にサンフランシスコ太鼓道場から指導者を同大学に派遣し、ろう者を対象に3週間の特別授業を行った。なお、同事業に併せて、100年の歴史を有するろう者のための総合大学であるギャローデット大学並びに同大学があるワシントンD.C.の米州開発銀行で太鼓公演を行った。

・名 称 米国太鼓指導者派遣
 期 間 2003年8月15日(金)～9月7日(日)
 訪問国 アメリカ(コロラド州デンバー市)
 派遣者 影山伊作氏(太鼓集団天邪鬼)
 *太鼓集団天邪鬼代表・渡辺洋一氏は文化庁文化交流使として参加
 指導内容等 8月16日(土) テンパー太鼓公演見学(タガリ・ガーデン)
 8月17日(日) ドラゴン・ポートフェスティバル見学(特設ステージ)
 8月18日(月) Jrテンパー太鼓指導(テンパー太鼓練習所)
 8月19日(火) テンパー太鼓指導(テンパー太鼓練習所)
 8月20日(水) Jrテンパー太鼓指導(テンパー太鼓練習所)
 8月21日(木) テンパー太鼓指導(レッドロックス)
 8月22日(金) レクチャ&モンストレーション(コロ라도・スポーツリンクス)
 8月23日(土) アジアンフェスティバル(ボルダード)
 8月25日(月) レクチャ&モンストレーション(テンパー植物園)
 8月26日(火) テンパー太鼓指導(テンパー太鼓練習所)
 8月27日(水) レクチャ&モストレーション(ロングモント・カルチャーセンター)
 8月28日(木) 公演(コロンビン・ヒルズ 小学校)・テンパー太鼓指導(同)
 8月29日(金) 公演(コロンビン小学校)・Jrテンパー太鼓指導(同)
 9月 2日(火) 太鼓公演(サミット小学校)・テンパー太鼓指導(同)
 9月 3日(水) 聾者レクチャ&モストレーション(同)
 9月 4日(木) レクチャ&モンストレーション(インターナショナル・スクール)
 9月 5日(金) ファイナルコンサート(ランプソン・メリジスト・チャーチ)

*「2003聴覚障害者教育に関する国際シンポジウム」の成果を評価され、現地関係者より太鼓指導者の短期派遣を要請された。当財団としてもアメリカにおける拠点づくりの一環として、積極的に対応することとして具体的な内容を精査していた。7月に同事業へ派遣した渡辺洋一氏が文化庁の「文化交流使」に選任され、コロラド州デンバー市に派遣されることとなった。現地では、日系三世を中心とした太鼓グループと現地の障害者にも太鼓を指導するため、この機会に財団としても指導者を派遣することとした。派遣者は渡辺洋一氏と同じ太鼓チームのメンバーである影山伊作氏を選任し渡辺氏と同一行動することとした。

・名 称 国際太鼓フェスティバル(米国拠点づくり)協賛事業
 期 間 2003年11月22日(土)・23日(日)
 訪問国 アメリカ(サンフランシスコ市)
 派遣者 銚子はね太鼓保存会(宮崎義政氏以下9名)
 飛翔しぶき太鼓(星原辰夫氏以下15名)
 参加者 サンフランシスコ太鼓道場、ロスアンゼルス祭り太鼓、祭座、
 サクラメント太鼓団、キンナラ太鼓、サンノゼ太鼓、吹雪太鼓ほか
 公演等 11月22日(土) 19:00- 太鼓公演 1,600名
 11月23日(日) 15:00- 太鼓公演 1,900名
 観客数 延べ3,500名

*米国における拠点づくりが本格化し、昨年の11/22-23にサンフランシスコにおける2003国際太鼓フェスティバルにおいて米国太鼓連盟(仮称)の設立準備総会が開催された。当財団では、これを支援するとともに日本太鼓連盟を周知するため広告掲載等の協力をした。なお、アメリカ太鼓連盟は1月に発足されている。

②名 称 第4回空手道糸東流世界大会太鼓公演
 太鼓ファンド(特別基金)事業
 期 間 2003年8月18日～26日
 訪問国 ロシア共和国(モスクワ市)
 派遣者 塩見和子(理事長)、大澤和彦(総務部長)、印出公平(事務局)
 橋太鼓 韶座(岩切邦光氏以下4名)
 主 催 (財)日本太鼓連盟
 会 場 ルージニキスポーツアリーナ
 ポリシェーナ・スポルチーヴナヤ・アリエーナルージニキ
 公演等 8月20日(水)テレビ取材
 8月21日(木)リハーサル
 8月22日(金)ジュニアの部開会式&太鼓演奏 観客 1,500名
 8月23日(土)世界大会開会式 観客 3,000名
 8月24日(日)世界大会閉会式 観客 2,000名
 観客数 延べ6,500名
 * 2003年8月にロシアにおいて「第4回空手道糸東流世界大会」が行われることとなり、太鼓の出演要請があった。財団としては、日本の伝統文化としての日本太鼓を紹介するに相応しい事業と判断し宮崎県の橋太鼓響座を派遣した。空手世界大会の会場となったルージニキスポーツアリーナは、モスクワオリンピックのバレー・ボール会場としてモスクワ市民に親しまれている建物であった。大会には世界より27カ国が参加し、大きな会場が参加者、応援団でほとんど埋まってしまうほどの盛り上がりであった。会場に響き渡る太鼓の一打一打に驚き、太鼓演奏には、好奇心を募らせた多くの観客が集まっていた。

(7) 日本太鼓全国講習会の実施

日本太鼓の演奏技術の向上と指導者育成を目的として、日本太鼓全国講習会を静岡・福島・長崎の3会場で開催し、延べ782名の受講者が参加した。いずれも主管支部や地元関係者の積極的な協力を得て、滞りなく行われた。

①名 称 第17回日本太鼓全国講習会(日本財団助成事業)
 期 日 2003年 6月28日(土)・29日(日)
 会 場 国立中央青年の家(静岡県御殿場市)
 主 催 財団法人日本太鼓連盟
 主 管 財団法人日本太鼓連盟静岡県支部
 後 援 文化庁、静岡県、静岡県教育委員会、御殿場市、御殿場市教育委員会
 日本財団
 講座の種類・講師・受講者
 専門講座 三ッ打太鼓講座(単式複打法) 島田 将嘉氏(石川) 57名
 ゆふいん源流太鼓講座(複式複打法) 長谷川 義氏(大分) 50名
 大太鼓講座(単式单打法) 山内 強嗣氏(静岡) 42名

基本講座	総合指導	古屋 邦夫氏(長野)
	3級基本講座	安江 信寿氏(石川) 52名
	4級基本講座	若山 雷門氏(岐阜) 42名
	5級基本講座(初心者講座)	松枝 明美氏(長野) 72名
		羽土 聰氏(岐阜)

受講者総数 315名 内訳 会員(大人 231名・子供 56名)一般(大人 26名・子供 2名)

②名 称	第 18 回日本太鼓全国講習会(日本財団助成事業)
期 日	2003年11月22日(土)・23日(日)
会 場	猪苗代町総合体育館カメリーナ(福島県猪苗代町)
主 催	財団法人日本太鼓連盟
主 管	財団法人日本太鼓連盟福島県支部
後 援	文化庁、福島県、福島県教育委員会、猪苗代町、猪苗代町教育委員会 日本財団

講座の種類・講師・受講者

専門講座	御諏訪太鼓講座(複式单打法)	小口 大八氏(副会長・長野) 41名
	秩父屋台囃子講座(複式複打法)	高野 右吉氏(埼玉) 34名
	締太鼓講座(単式单打法)	長谷川 義氏(大分) 34名
基本講座	総合指導	古屋 邦夫氏(長野)
	3級基本講座	安江 信寿氏(石川) 25名
	4級基本講座	松枝 明美氏(長野) 42名
	5級基本講座(初心者講座)	鈴木 孝喜氏(秋田) 76名
		渡辺 洋一氏(東京)

受講者総数 252名 内訳 会員(大人 171名・子供 60名)一般(大人 17名・子供 4名)

③名 称	第 19 回日本太鼓全国講習会(日本財団助成事業)
期 日	2004年2月14日(土)・15日(日)
会 場	シーハットおむら(長崎県大村市)
主 催	財団法人日本太鼓連盟
主 管	全九州太鼓連合・財団法人日本太鼓連盟長崎県支部
後 援	文化庁、長崎県、長崎県教育委員会、大村市、大村市教育委員会、 日本財団、西日本新聞社、長崎新聞社

講座の種類・講師・受講者

専門講座	御諏訪太鼓講座(複式单打法)	小口 大八氏(副会長・長野) 14名
	大太鼓講座(単式複打法)	渡辺 洋一氏(東京) 24名
	締太鼓講座(単式单打法)	長谷川 義氏(大分) 58名
基本講座	総合指導	古屋 邦夫氏(長野)
	3級基本講座	安江 信寿氏(石川) 27名
	4級基本講座	松枝 明美氏(長野) 27名
	5級基本講座(初心者講座)	鈴木 孝喜氏(秋田) 65名
		松元 和敏氏(鹿児島)

受講者総数 215名 内訳 会員(大人 137名・子供 55名)、一般(大人 23名・子供 0名)

(8) 日本太鼓資格認定事業の実施

日本太鼓資格認定事業は、指導員としての資格について認定する「公認指導員」と演奏者としての技術水準の資格について認定する「技術認定員」との2つに区分し、それぞれ実施した。また、文部科学省の学習指導要領が改正され日本太鼓などの和楽器を授業に取り入れることとなったのを受け学校教職員を対象とした太鼓研修会を群馬、千葉、栃木で実施した。

① 公認指導員

2003年度認定者

運営委員会及び技術委員会で規定に基づき慎重に審議した結果、下記のとおり認定された。

1級公認指導員認定者 1名(京都府) *昇級

3級公認指導員認定者 4名(群馬県・大分県・鹿児島2名) *全員推薦による認定

*この結果、公認指導員の現在数は202名となった。(内訳は次のとおり)

特別公認指導員 2名 1級公認指導員 23名

2級公認指導員 63名 3級公認指導員 114名

第2期公認指導員更新研修会

本年は3年に一度の更新研修会を実施した。197名の対象者のうち168名が参加し資格を更新、8名が資格を喪失した。なお、欠席者は次のとおり対応することとした。

- 病気による欠席者5名は次回の更新研修会に出席するまでの間、資格を停止する。
- その他の欠席者16名は資格を1階級降格する。但し、次回の更新研修会に出席した場合、降格以前の級に戻す。

② 技術認定員

検定試験の実施

技術認定には、1級技術検定が実技3回、2級技術検定が実技2回の合格が必要となる。

2003年度は下記の通り認定された。

・第32回検定(2003年6月1日・長野)

検定員 古屋邦夫、松枝明美、渡辺洋一、安江信寿

検定結果 105名受験(全員認定)

3級検定 24名受験 24名認定

4級検定 23名受験 23名認定

5級検定 58名受験 58名認定

第16回日本太鼓支部講習会

・第33回検定(2003年6月29日・静岡) 第17回日本太鼓全国講習会

検定員 古屋邦夫、安江信寿、若山雷門、松枝明美、羽土聰

検定結果 262名受験(190名認定)

1級検定 34名受験 6名認定(合格者31名)

2級検定 62名受験 20名認定(合格者46名)

3級検定 52名受験 51名認定

4級検定 42名受験 41名認定

5級検定 72名受験 72名認定

・第34回検定(2003年9月21日・京都) 第17回日本太鼓支部講習会

検定員 古屋邦夫、松枝明美、安江信寿

検定結果 73名受験(70名認定)

3級検定 16名受験 13名認定

4級検定 26名受験 26名認定

5級検定 31名受験 31名認定

・第35回検定(2002年11月23日・福島) 第18回日本太鼓全国講習会

検定員 古屋邦夫、安江信寿、若山雷門、松枝明美、渡辺洋一

検定結果 212名受験(145名認定)

1級検定 34名受験 6名認定(合格者31名)

1級検定 35名受験 6名認定(合格者28名)

2級検定 45名受験 12名認定(合格者45名)

3級検定 25名受験 21名認定

4級検定 42名受験 42名認定

5級検定 65名受験 64名認定

・第36回検定(2004年2月15日・長崎) 第19回日本太鼓全国講習会

検定員 古屋邦夫、安江信寿、若山雷門、松枝明美、松元和敏、渡辺洋一

検定結果 170名受験(127名認定)

1級検定 17名受験 3名認定(合格者14名)

2級検定 35名受験 12名認定(合格者27名)

3級検定 26名受験 23名認定

4級検定 27名受験 24名認定

5級検定 65名受験 65名認定

・第37回検定(2004年3月28日・島根) 第18回日本太鼓支部講習会

検定員 古屋邦夫、松枝明美、景山道隆

検定結果 42名受験(42名認定)

4級検定 22名受験 22名認定

5級検定 20名受験 20名認定

2. 一般事業

(1) 広報事業の実施

① 会報の発行

さらに内容を充実し、毎号 1,500 部発行、加盟団体及び各関係先に配布した。

第 22 号(4月号)、第 23 号(7月号)、第 24 号(10月号)、第 25 号(1月号)

② 支部旗の作成

財団の事業に併せて開催支部の旗を作成し、会場内に掲揚、会員の意識高揚に務めた。

今年度は、三重、北海道道南、新潟の支部旗を作成、これまでに作成した支部を合わせると 39 支部中 37 支部となった。

③ ホームページの充実

事業の開催内容や会報等の情報を常時入力し、ホームページの充実を図った。

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp>

開設後のアクセス数は、海外を含めて 35,482 件であった。

④ テレビ・新聞・雑誌への広報活動

○第 6 回日本太鼓ジュニアコンクールの模様が、岐阜テレビの特別番組として生中継で放映されたほか、岐阜新聞等で記事として広く紹介された。

○国際交流事業における太鼓チームの演奏が、各公演国(米国、ロシア)で、テレビや新聞、ラジオ等に幅広く紹介された。特に、アメリカのロチェスター聾工科大学での公演を日本テレビニュース支局が取材し、日本でも放映され話題となった。

○財団関係者が新聞・雑誌等に数多く紹介された。

(2) 協力事業の実施

国や地方公共団体並びに関係団体が実施する事業に対し、次のとおり積極的に協力し、日本太鼓の普及に務めた。

① 「第 30 回笹川賞競走」太鼓公演

競艇界のビッグレースの一つ、第 30 回笹川賞競走が平和島競艇場で、実施さ行われるにあたり、日本の伝統文化を紹介したいとの要請を受け、出演協力を行った。

主 催 府中市

協 力 (財) 日本太鼓連盟

期 日 2003 年 5 月 29 日(木)

会 場 平和島競艇場(東京都品川区)

出 演 龍・連山と和太鼓「龍」(山形)

② 「ドイツ大使館」太鼓公演

ドイツ大使館で、ヨーロッパ・アジア政財界関係者が集う会の実施にあたり、日本の伝統文化を紹介したいとの要請を受け、出演協力を行った。

主 催 ドイツ大使館ほか

協 力 (財) 日本太鼓連盟

期 日 2003 年 6 月 3 日(火)

会 場 ドイツ大使館・大使公邸(東京都港区)

出 演 助六太鼓(東京)

③ 「水とのふれあい IN 浜名湖」太鼓公演

浜名湖競艇場において水とのふれあいをテーマに近隣の家族が水に親しむ事業が実施するにあたり、太鼓演奏の要請を受け、出演協力を行った。

主 催 財団法人ブルーシー&グリーンランド財団
協 力 (財)日本太鼓連盟
期 日 2003年8月21日(木)
会 場 浜名湖競艇場(静岡県新居町)
出 演 金谷大井川川越し太鼓(静岡)

④ 「第16回水心会夏祭り」太鼓公演

船の科学館において「水心会夏祭り」が開催されるにあたり、太鼓演奏の要請を受け、出演協力を行った。

主 催 水心会実行委員会(幹事団体・財団法人ブルーシー&グリーンランド財団)
協 力 (財)日本太鼓連盟
期 日 2003年9月12日(金)
会 場 船の科学館(東京都品川区)
出 演 飛翔しぶき太鼓(千葉)

⑤ 「第3回アフリカ開発会議開催記念」太鼓公演

東京のユニセフハウスにおいて第3回アフリカ開発会議の開催を記念して太鼓演奏の要請を受け、出演協力を行った。

主 催 国連児童基金(ユニセフ)、財団法人日本ユニセフ協会
協 力 (財)日本太鼓連盟
期 日 2003年9月28日(日)
会 場 ユニセフハウス(東京都港区)
出 演 松川響岳太鼓子供会(長野)

⑥ 「2005年スパ・シャルオリンピックス冬季世界大会キックオフパーティ長野大会」太鼓公演

2005年に長野において知的障害者を対象として開催されるスパ・シャルオリンピックス冬季世界大会の支援者による激励会が長野で行われるにあたり、太鼓演奏の要請を受け、出演協力を行った。

主 催 2005年スパ・シャルオリンピックス冬季世界大会支援者の会
協 力 (財)日本太鼓連盟
期 日 2003年10月14日(火)
会 場 ホテル国際21(長野県長野市)
出 演 すみれ太鼓(長野)

⑦ 「2005年スパ・シャルオリンピックス冬季世界大会キックオフパーティ東京大会」太鼓公演

2005年に長野において知的障害者を対象として開催されるスパ・シャルオリンピックス冬季世界大会の支援者による激励会が東京で行われるにあたり、太鼓演奏の要請を受け、出演協力を行った。

主 催 2005年スパ・シャルオリンピックス冬季世界大会支援者の会
協 力 (財)日本太鼓連盟
期 日 2003年10月22日(火)
会 場 新高輪プリンスホテル(東京都港区)
出 演 富岳太鼓(静岡)

⑧「平成 15 年度社会貢献者表彰式典」太鼓公演

社会貢献財団が毎年実施している社会貢献者表彰式典における太鼓演奏の要請を受け、出演協力を行った。

主 催　　社会貢献支援財団
協 力　　(財)日本太鼓連盟
期 日　　2003 年 11 月 4 日(火)
会 場　　全日空ホテル(東京都港区)
出 演　　助六太鼓(東京)

(3)後援事業の実施

財団法人日本太鼓連盟の支部並びに関係団体が、日本太鼓の普及、振興を図るために実施する事業に対し、次のとおり 29 の事業に対し後援を積極的に行った。なお、全事業における参加者総数は 21,146 名、観客総数は 313,022 名であった。

4 月 12・13 日成田太鼓祭(千葉県成田市・成田山新勝寺と表参道)

(主催:感動成田劇場実行委員会) 参加者 1,500 名・観客数 183,500 名

4 月 29 日(火)群馬県こども太鼓フェスティバル in かたしな(群馬県片品村・花の谷公園)

(主催:尾瀬太鼓愛好会) 参加者 370 名・観客数 480 名

5 月 4 日(日)日本太鼓 秩父祭(埼玉県秩父市・秩父ミューズパーク)

(主催:秩父太鼓連盟) 参加者 193 名・観客数 2,100 名

5 月 25 日(日)荏原流れ太鼓ひびき会 25 周年記念公園(東京都大田区・区民ホールアリコ)

(主催:(財)大田区文化振興協会) 参加者 120 名・観客数 1,170 名

6 月 8 日(日)岩舟武蔵太鼓 20 周年記念コンサート(栃木県岩舟町・コスモスホール)

(主催:岩舟武蔵太鼓) 参加者 57 名・観客数 680 名

6 月 22 日(日)豊里学園和太鼓「鼓粹」コンサート(大阪府大阪市・市立旭区民センター大ホール)

(主催:(社福)大阪福祉事業財団 豊里学園) 参加者 100 名・観客数 660 名

6 月 22 日(日)2003 ふくしま太鼓フェスティバル(福島県郡山市・郡山ユラックス熱海)

(主催:福島県太鼓連盟) 参加者 443 名・観客数 2,213 名

6 月 28 日(土)創作和太鼓駒の会第 14 回定期演奏会(宮城県小牛田町・文化会館)

(主催:創作和太鼓駒の会) 参加者 65 名・観客数 637 名

7 月 21 日(月)第 18 回霧島高原太鼓まつり(鹿児島県・みやまコンセル野外音楽堂)

(主催:霧島高原太鼓まつり実行委員会) 参加者 250 名・観客数 15,000 名

7 月 26・27 日 第 18 回富士山太鼓まつり(静岡県御殿場市・富士山御殿場口特設会場)

(主催:富士山太鼓まつり実行委員会) 参加者 450 名・観客数 20,000 名

7 月 27 日(日)環日本海和太鼓フェスティバル(山形県酒田市・大浜海岸特設ステージ)

(主催:同フェスティバル実行委員会) 参加者 200 名・観客数 1,800 名

8 月 13・14 日 第 34 回市民祭岡谷太鼓祭り(長野県岡谷市・カワホル特設ステージ)

(主催:岡谷市ほか) 参加者 2,850 名・観客数 58,000 名

- 8月 24日(日) ‘03 いわて太鼓フェスティバル in 盛岡 (岩手県盛岡市・都南文化会館)
(主催:岩手県太鼓連盟) 参加者 260名・観客数 670名
- 8月 31日(日) 白鶯太鼓 20周年記念公演(宮城県築館町・栗原文化会館)
(主催:白鶯太鼓鶯鳴会) 参加者 70名・観客数 850名
- 9月 6日(土) 第9回秋田ふるさと村・第12回秋田県子ども太鼓フェスティバル
(秋田県横手市・秋田ふるさと村トーム劇場)
(主催:秋田県太鼓連盟ほか) 参加者 625名・観客数 1,500名
- 9月 13日(土) 第17回秋田県太鼓フェスティバル～仙北太鼓 15周年記念～
(秋田県仙北町・ふれあい文化センター)
(主催:秋田県太鼓連盟) 参加者 266名・観客数 844名
- 9月 21日(日) 第14回石川の太鼓(石川県・内灘町文化会館)
(主催:(社)石川県太鼓連盟) 参加者 200名・観客数 800名
- 9月 27日 日本の太鼓 IN 室蘭北海道室蘭市文化センター
(主催:大太鼓一本打ち北海道大会実行委員会) 参加者 804名・観客数 165名
- 9月～11月 全国幼稚園・保育園 幼児音楽体フェスティバル 2003(全国 23会場)
(主催:全日本幼児教育連盟) 参加者 10,120名・観客数 13,800名
- 10月 19日 平成15年全国太鼓フェスティバル(岩手県陸前高田市・陸前高田市体育館)
(主催:全国太鼓フェスティバル実行委員会) 参加者 883名・観客数 2,602名
- 10月 26(日) 第4回和太鼓「野州路を行く」(栃木県矢板市・矢板市民会館大ホール)
(主催:栃木県太鼓連盟) 参加者 281名・観客数 1,100名
- 11月 16日(日) 第2回太鼓エモーション(群馬県藤岡市・群馬県みかぼみらい館)
(主催:藤岡市、太鼓エモーション実行委員会他) 参加者 284名・観客数 1,009名
- 11月 23日(日) 第29回富山の太鼓(富山県大沢野町・大沢野町民文化会館)
(主催:富山県太鼓協会) 参加者 400名・観客数 750名
- 11月 30日(日) 女川潮騒太鼓轟会 10周年記念公演(宮城県女川町・女川町生涯教育センター)
(主催:女川潮騒太鼓轟会) 参加者 113名・観客数 520名
- 1月 12日(月・祝) かながわの太鼓(神奈川県横浜市・神奈川県民ホール)
(主催:神奈川県太鼓連合) 参加者 195名・観客数 1,563名
- 1月 31日(土) 甲斐之國御坂天雷太鼓 20周年記念 6町村太鼓フェスティバル
(山梨県一宮町・いちのみや桃の里ふれあい文化館)
(主催:甲斐之國御坂天雷太鼓保存会) 参加者 270名・観客数 300名
- 2月 15日(日) 第6回心のふる里千葉の太鼓(千葉県青葉町・青葉の森公園芸術文化ホール)
(主催:千葉県太鼓連盟) 参加者 200名・観客数 600名
- 2月 22日(日) 第13回桜の祭典(埼玉県岩槻市・イグレッタホール)
(主催:埼玉県太鼓連盟) 参加者 100名・観客数 650名
- 3月 13・14日 第18回日本太鼓秋田県講習会(秋田県男鹿市・男鹿北中学校他)
(主催:秋田県太鼓連盟) 参加者 250名

(4) 調査研究事業の実施

学校関係をはじめとする各分野の日本太鼓に関する文献・資料の収集及び日本太鼓並びに伝統芸能等の事業を視察し研究するなど調査研究事業を積極的に行った。

本年度の調査は次のとおりアンケート方式により実施した。

- ・ 太鼓の練習場等に関する実態調査(加盟団体を対象)
- ・ 学校における公認指導員の指導実績に関する実態調査(公認指導員を対象)